



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 日鉄住金物産株式会社
 コード番号 9810 URL <http://www.nssb.nssmc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐伯 康光
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 多田 昌功
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5412-5003

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	612,326	26.8	8,549	7.1	9,127	△4.7	7,994	24.6
30年3月期第1四半期	483,045	15.4	7,983	13.6	9,582	32.6	6,415	154.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 5,645百万円 (△30.6%) 30年3月期第1四半期 8,138百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	247.80	—
30年3月期第1四半期	207.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	902,020	236,407	24.5
30年3月期	776,395	227,968	27.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 220,996百万円 30年3月期 210,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	90.00	—	120.00	210.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	110.00	—	110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500,000	21.2	38,000	17.6	38,000	8.0	23,500	8.2	728.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	32,307,800 株	30年3月期	30,957,800 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	47,905 株	30年3月期	47,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	32,260,029 株	30年3月期1Q	30,912,260 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成30年7月31日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では安定した雇用情勢や堅調な個人消費が継続しており、中国では一部の消費や投資において減速傾向が見られるものの、全体として概ね堅調に推移しました。一方で、米国と中国の通商問題の影響等が懸念され、先行きは不透明感が増しております。

日本経済は個人消費の持ち直しや、企業収益、雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しました。

このような経営環境のもと、当社グループの連結業績につきましては、売上高は1,292億円、26.8%増収となる6,123億円となりました。営業利益は5億円、7.1%増益となる85億円、経常利益は4億円、4.7%減益となる91億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は15億円、24.6%増益となる79億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼事業におきましては、鋼材需要は内外とも概ね堅調に推移しました。当社の販売数量は、三井物産株式会社グループの鉄鋼事業の一部譲受けもあり、前年同期と比較し国内、輸出とも増加しました。販売価格については、前年同期と比較し国内、輸出とも上昇しました。これらにより売上高は1,297億円、33.3%増収となる5,194億円となり、経常利益は11億円、17.6%増益となる74億円となりました。

(産機・インフラ)

産機・インフラ事業におきましては、売上高は2億円、1.2%増収となる224億円となりました。経常利益はタイの持分法適用会社において前年同期に計上した企業結合等による一過性の利益剥落などにより、6億円、46.9%減益となる7億円となりました。

(繊維)

繊維事業におきましては、売上高は8億円、2.4%減収となる353億円となりました。経常利益は前年同期並となる9億円となりました。

(食糧)

食糧事業におきましては、売上高は1億円、0.5%増収となる348億円となりました。一方で経常利益は1億円、22.1%減益となる5億円となりました。

なお、その他の区分の経常損失6億円は、販売用不動産の処分に係るものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、売上規模拡大に伴う売上債権等の増加があり、前期末比1,256億円の増加となる9,020億円となりました。

負債合計は、売上規模拡大に伴う、仕入債務や有利子負債の増加があり、前期末比1,171億円の増加となる6,656億円となりました。

純資産合計は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が増加しました。また配当金支払があったものの、当第1四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があり、前期末比84億円の増加となる2,364億円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本は2,209億円、自己資本比率は、24.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,554	27,208
受取手形及び売掛金	471,777	588,474
たな卸資産	112,340	114,177
その他	16,329	24,571
貸倒引当金	△1,323	△1,371
流動資産合計	627,678	753,060
固定資産		
有形固定資産	55,030	55,190
無形固定資産		
のれん	51	34
その他	708	673
無形固定資産合計	760	708
投資その他の資産		
その他	96,062	96,192
貸倒引当金	△3,136	△3,130
投資その他の資産合計	92,926	93,061
固定資産合計	148,716	148,959
資産合計	776,395	902,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,614	265,554
短期借入金	132,084	163,711
コマーシャル・ペーパー	20,000	50,000
未払法人税等	6,075	2,056
引当金	4,485	3,712
その他	29,049	42,476
流動負債合計	441,308	527,511
固定負債		
社債	30,000	60,000
長期借入金	65,538	65,364
引当金	523	553
退職給付に係る負債	2,107	2,136
その他	8,949	10,047
固定負債合計	107,118	138,101
負債合計	548,426	665,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,335	16,389
資本剰余金	50,751	54,805
利益剰余金	131,006	135,291
自己株式	△140	△142
株主資本合計	193,953	206,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,581	11,502
繰延ヘッジ損益	△502	△199
為替換算調整勘定	5,190	2,915
退職給付に係る調整累計額	452	435
その他の包括利益累計額合計	16,722	14,652
非支配株主持分	17,293	15,410
純資産合計	227,968	236,407
負債純資産合計	776,395	902,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	483,045	612,326
売上原価	451,145	576,270
売上総利益	31,900	36,056
販売費及び一般管理費	23,916	27,507
営業利益	7,983	8,549
営業外収益		
受取利息	93	110
受取配当金	757	490
持分法による投資利益	1,299	734
仕入割引	144	124
その他	276	576
営業外収益合計	2,571	2,038
営業外費用		
支払利息	743	1,005
為替差損	25	—
その他	204	454
営業外費用合計	972	1,459
経常利益	9,582	9,127
特別利益		
投資有価証券売却益	64	107
負ののれん発生益	—	1,318
特別利益合計	64	1,426
特別損失		
固定資産売却損	—	55
投資有価証券評価損	220	—
出資金評価損	—	129
関係会社整理損	—	205
特別損失合計	220	390
税金等調整前四半期純利益	9,425	10,163
法人税等	2,784	1,876
四半期純利益	6,641	8,286
非支配株主に帰属する四半期純利益	226	292
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,415	7,994

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	6,641	8,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,289	△65
繰延ヘッジ損益	2	302
為替換算調整勘定	△966	△2,329
退職給付に係る調整額	20	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	151	△530
その他の包括利益合計	1,496	△2,640
四半期包括利益	8,138	5,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,237	5,924
非支配株主に係る四半期包括利益	△99	△278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月2日付で、三井物産株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ4,054百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が16,389百万円、資本剰余金が54,805百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	389,651	22,141	36,162	34,664	482,620	425	483,045	—	483,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	200	282	2	—	485	45	530	△530	—
計	389,852	22,423	36,164	34,664	483,105	470	483,575	△530	483,045
セグメント利益 (経常利益)	6,314	1,492	978	767	9,552	29	9,582	0	9,582

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額0百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	519,447	22,410	35,304	34,824	611,986	339	612,326	—	612,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203	194	1	—	399	35	434	△434	—
計	519,651	22,604	35,306	34,824	612,386	374	612,761	△434	612,326
セグメント利益 又は損失(△) (経常利益又は経常損失)	7,429	792	917	597	9,737	△607	9,129	△1	9,127

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去△1百万円であります。

3 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益又は損失(△)の合計は、調整額△1百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

鉄鋼セグメントにおいて事業譲受け及び当該事業に関連する会社の株式取得により、1,318百万円の負ののれん発生益が発生しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。